

From Laos From Vientiane

Vol.3

H26-3 Lao P.D.R Vientiane
PC Instructor
Tatsuya Miyakawa
Yokote city, Akita Pref.

ສະບາຍດີ!! これは "サバイディー" と読ます。ラオス語でこんにちは
という意味です。改めまして秋田県のみなさんこんにちは。秋田県
横手市出身で東南アジアにあるラオス、ビエンチャン特別市で活動
しております。宮川達也と申します。

第3回目のレポートをお送りします。早いものでラオスでの活動も
1年半が経過し、任期も残り6ヶ月ほどとなりました。

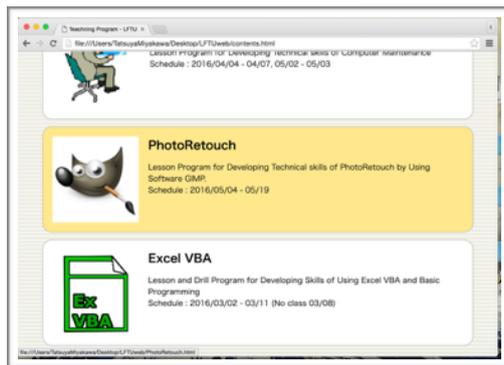
表紙写真 サイニャブリ県の象祭り

ビエンチャン市の写真ではありませんが ^^; 今年2月にラオス北部のサイニャブリ県に旅行をし、同県で開催されて
いた象祭りを見学してきました。サイニャブリ県に多くの象が集まり、パレードや曲芸などが披露されていまし
た。貴重な観光資源となっており、毎回多くの人で賑わいます。秋田県内…、いや日本国内でもこれほどたくさ
んの象を見るという経験はできないのではないかと思います。とても貴重な経験でした。秋田県から近いところ
では、福島県二本松市にある東北サファリパークに2012年にラオスから象が送られています。



活動報告 その1 日々の活動と研修実施

2015年の活動開始直後から行っているIT技術に関する研修、学習機会の提供を継続して行っています。簡単に言うと、ピエンチャン市内近郊で働いている方を対象としたパソコン教室のようなものを開講しています。所属先であるラオス労働組合連盟の研修施設の中にパソコン16台がある教室を使わせていただいて、午前中や業務終了後の夕方の時間に受講者の方に通っていただいています。2016年2月から5月までの期間で第3回目の研修を開講し、これまでの累計で約80名の方に受講者として受け入れ、約500時間程度の研修を実施しています。主に表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの使い方、簡単なプログラミングやネットワーク構築、画像編集、処理などに関する教材を開発しながら研修を進めています。



← 教室内に作った webサイト

教室内に構築しているサーバーを活用して、電子書籍化した教科書を閲覧したり、教材のファイルをダウンロードできるwebサイトを構築した。これにより、印刷物の配布を止めた。以前は資料の印刷代を徴収して研修を行っていたが、無償での教材提供を実現し、費用的に負担の少ない形での研修を実施している。教室内には無線LANアクセスができる設備もあり、スマートフォン、タブレットでの閲覧も可能である。

研修の修了式→

配属先のご好意で研修期間後に修了式を開いていただいている。今回で3回目の開催となった。今回も研修を修了された受講生に修了証をお渡しし、盛大に開催することができた。今回は修了式に新聞の取材が入ったようで後日受講生の方が修了式に関する記事の写真をFacebookに掲載していた。しかし、当の本人である私はこの記事が一体何の新聞にいつ掲載されたものなのかわからない。

^^;



← ピーマイラオの様子

ラオスでは仏暦の新年にあたる毎年4月14日～16日にお正月のお祝いをする風習があり、ピーマイラオと呼ばれている。ラオス語で”ピー”が年、”マイ”が新しいという意味である。

配属先でもバーシーと呼ばれる新年の幸運をお祈りする儀式が行われ、新年を祝う盛大な宴会が行われた。宴会ではお清めのためにお互いに水をかけあったり、カラオケやダンスをして楽しんだりと非常に盛大な内容で盛り上がった。



活動報告 その2 外部連携

2016年2月にラオス国立大学工学部IT学科にてwi-fi パケットセンサーという技術を活用したアイデアコンテストが行われました。これはwi-fi パケットセンサーという技術を使ってラオスのバス公社に路線バスの位置情報を把握できる bus-navi というシステムを提供して技術協力を行っている日本の株式会社JRISSとJICA、ラオス国立大学工学部が共同で開催したアイデアコンテストです。ラオス国立大学工学部に配属されているコンピュータ技術の隊員が企画に携わっており、私もコンテスト当日はアドバイザーとして審査員や関係者と出場者である学生の間に入り通訳や技術解説などをするお手伝いをしました。



← アイデアコンテスト当日の様子

当日は工学部 IT学科に所属する学生がそれぞれチームを作り、それぞれのチームで検討したアイデアを最終のプレゼンテーションで競うという形でコンテストが行われた。

アイデアの内容としては、ペットの動向管理ができるシステムや野生動物にセンサーをつけて生態調査を行うためのシステム、ラオスにはない物流の事業やシステムなど新しくバラエティに富んだアイデアがたくさん披露された。

ビエンチャンのバスとバスナビ →

ラオス国内、ビエンチャン市内には電車がなく、バスが唯一手軽に利用できる公共交通機関である。ビエンチャン市郊外にある大学や病院へ行く路線バスが運行されており、市民の足として重宝されている。それ以外の市民の交通手段としては車やバイクが利用されているが、近年は台数が爆発的に増えてしまい、朝夕の通勤時の交通渋滞や駐車場不足、それに伴って交通事故の発生件数が急増するなど多くの問題が発生している。

そんな中であって、このバスナビというシステムはバスの利用の利便性の向上やそれによる交通渋滞の緩和などが期待できるシステムとして、また国際協力分野のIT活用事例として注目されているものの一つである。

バスナビの描く軌跡と市内に広がるバス路線がそれぞれの行き先だけでなくこれからの未来にもつながることを期待したい。



← ↓ 中央バスターミナルに配置されたバスナビのモニター

地図の中にバスが映し出され、バスの位置情報を随時確認できる。



バス停の様子とバス公社を見学した際の写真



2016年1月から6月までの出来事

Vientiane International Half Marathon 走破!!

趣味で横手市に住んでいた時からランニングをやっています。その成果を試すべく、2016年3月にビエンチャン市内で Vientiane International Half Marathon というハーフマラソンの大会が開催され、参加しました。結果は2時間7分で完走しました!!

次は2016年10月に北部のルアンパバーンという街で開催されるハーフマラソンの大会にエントリーしており、完走目指して頑張ります。



隊員総会と首相表敬訪問

2016年6月に隊員総会と首相表敬訪問が行われました。隊員総会では総会執行委員をやらせていただき、総会の企画や進行をしました。日々の活動と並行しながらの準備で厳しい部分もありましたが、経験できてよかったです。

また、ラオスのトンソン首相をラオス国内で活動している隊員全員で表敬し、首相からありがたいお言葉を賜りました。

これらの行事が終わり、あと半年で自分の活動も終わるのだということを実感させられました。



自己紹介

宮川達也(みやかわ たつや)

青年海外協力隊 平成26年度 3次隊

職種 PCインストラクター

1985年 8月8日生まれ秋田県横手市出身。高校卒業までを秋田県横手市で過ごし、岩手県での大学生活と東京、神奈川、大阪での会社員生活を経験後 青年海外協力隊に参加。

2015年1月からラオス、ビエンチャン特別市に派遣され、ラオス労働組合連盟の研修施設で講師としてIT技術に関する研修を担当している。

↓ブログを書いています↓

Blog : <http://t-28.blogspot.com/>